

勝央中学校 コミュニティ・スクール だより

「第49回学校運営協議会」(令和元年度 第2回)



令和元年 7月

7月5日、本年度第2回目となる、第49回学校運営協議会が開かれました。4時間目の授業を参観後、給食の配膳を見学し、生徒と一緒に給食の試食をして頂きました。その後、野上会長、校長のあいさつの後、協議に移り、授業参観・給食の様子について、意見交換を行いました。

【協議】

(1) 学校から報告

働き方改革のモデル校となった自校の具体的な取り組みを紹介したリーフレットを作成したことを報告。作成にあたり、学校運営協議会の活動も大きな力となっていることを再確認した。また、1学期、中間テストを無くしたことから様々な取り組みを行ったことを報告。期末テスト・実力テストまでの見通しを立てる取り組みやテストの間違いを直すレポートの取り組みを行った。



協議の様子

(2) 授業参観・給食試食についての意見交換

・先生方の様々な工夫が見られた。

それと併せて、ICT機器の活用など設備が充実してきたおかげで、学びの環境が良くなっている。

・プリントだけで終わらせず、図や文章をノートに書かせている。書くことから遠ざからないような取り組みが来ている。

・生徒は、大人が参観していることに構えず、良い意味で大人慣れしている。地域に開かれた学校になっているからこそだと感じた。

・生徒が書いた作品やノートの内容を掲示していることが良かった。自主学習の具体的な方法など他の生徒の良い刺激になると思う。

・地域で活動している委員は、生徒を小さい頃から知っているのので、子どもたちの成長をずっと見ていけることをうれしく思う。

・給食を残す生徒が少なく、残食がほとんど無いことに感心した。



授業参観



体育館・道場も見学



給食試食

(3) 岡村副会長(学識経験者)から

給食指導は学級経営にとっても重要な役割を占める。今日の給食の様子をみると、学級経営が円滑に行われているとうかがえる。また、勝央町は地域の方が子どもたちの成長を長く見守る体制が出来ていると思う。

長時間にわたり、委員の皆様ありがとうございました。